

金山地区のまちづくりを語る会が、金山のまちづくりに関わる皆さんにとっての「交流や情報の結節点」でありたい。次々と新たな活動が生まれるような、「創造力の結節点」といえる場でありたい。そんな願いを込めて、本誌の名前を『NODE【結節】』としました。

皆様、明けましておめでとうございます。健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

本年も皆様にとって素晴らしい1年となりますよう心より祈念申し上げます。(と言いつつ年末の慌ただしさに感けながら2017年初頭の発行を目指し2016年の年末を過ごしている事務局です(-_-))

さて、昨年12月14日(水)に開催した第11回の「金山地区のまちづくりを語る会」は、名古屋市で予めより検討が進められていた「金山駅周辺まちづくり構想(素案)」について住宅都市局よりご説明をいただきました。

この構想は、金山が名古屋城と熱田神宮を結ぶ歴史的な都市軸上に位置するとともに、海外との玄関口である中部国際空港、更には2027年に予定されているリニア中央新幹線の開業など、これからの人の動線軸上に位置しており新たな役割を果たすことが期待されていることから、今後の新たな役割を見据えて策定されたものです。

構想の概要について、ご紹介します。

「金山駅周辺まちづくり構想(素案)」

住宅都市局まちづくり企画課長 田村 正史 氏

■ 対象範囲



今後の開発が見込まれる市有地を中心に、開発の波及効果が及ぶと考えられる周辺を含めた約41haを構想の対象範囲としました。

駅周辺に市有地がまとまってあることが金山の特徴で、市有地を開発することにより周辺の民間開発が促進されることを期待しています。

■ 8つの課題

構想策定にあたり、現状ある課題を8つあげました。

① 名駅・栄との連携・差別化

名古屋駅前は高層ビルが林立した広域的なビジネス・交流拠点になっています。栄は時間消費や商業娯楽の集積地です。これら名駅や栄と連携しながらも、差別化を図っていく必要があると考えています。

金山については、名フィルや市民会館、閉館が決まっていますが名古屋ポストン美術館など文化や芸術施設が集積しており、そういった特色を活かしながらまちづくりを進めていきたいと考えています。

② 土地の有効活用

金山は、名古屋市の『都市計画マスタープラン』でも戦略的まちづくりを進める重要地域の一つと位置付けられ、都市機能や魅力施設の集積を図るとされています。現在は指定容積率(500%~800%)の半分も使われておらず、将来的な機能集積を図るために有効活用していきたいと考えています。

③ にぎわい機能の継続・集積

アスナル金山誕生により一定の賑わいは創出され、商業施設や小売店も増えてきたと認識しています。ただ一方では「緑が不足している」との指摘もあります。今後は、賑わいと緑の潤いが感じられる空間形成を進めていきたいと考えています。

④ 回遊性の拡大

多くの人々が利用する金山駅ではありますが、駅から街に出てこないという実態があります。また、多くの来街者の行動範囲は広がり乏しい傾向にあります。今後は、広く回遊していただけるよう、地域資源の活用を始め魅力づくりを目指していきたいと考えています。

⑤ ホール機能の継承

市民会館は、金山地域の文化交流機能として重要な位置付けを持つ施設です。また、市内でも同規模ホールの閉鎖が相次ぎ、施設の重要度は増えています。一方、老朽化やバリアフリーへの対応等機能更新が求められており、出来れば市民会館の機能を中断することなく、新しい施設を作ってからこれまでの施設を壊すという方法でまちづくりを進めていきたいと考えています。

⑥ 災害時の対応

金山駅は、1日43万人という名古屋駅に次ぐ乗降客数を有する駅であり、大規模地震や大雨の災害時に、地域の皆様や来街者、鉄道利用者が困ることのないように整備を進めていきたいと考えています。

⑦ 駅利用者の滞留空間等の充実

金山への来街者が増加するなか、駅利用者の待ち合わせ空間やイベント空間が狭くなっています。災害時の帰宅困難者等も想定し、人の滞留空間を拡大していく必要があることを課題として挙げています。

⑧ 交通結節点機能の充実

セントレアやリニア新幹線（名駅）に直結する駅として、多様な駅利用者や外国人観光客にも使いやすい駅としていきたいと考えています。

■ コンセプト

「交通拠点から交流拠点へ」

～にぎわい・文化・芸術の継承と新たな役割を求めて～

先ほど説明した8つの課題の解決に向けて、今後は防災機能やこれまで培われてきた文化芸術機能の充実を図っていきます。

人々の創造性が育まれ、老若男女誰もが集い、楽しむことができ、多種多様な交流による賑わいあふれるまちを形成するため、4つの基本方針を掲げています。

基本方針1 にぎわいの継承・発展

- ① 都市機能の集積
- ② 商業機能等の再編
- ③ 金山地域内外の回遊性の向上

1日に43万人の乗降客数を有する金山総合駅を中心に交通拠点として機能していますが、多様な都市機能を備えた交流拠点となる街を形成していきます。

基本方針2 文化技術や創造等拠点の集客性向上

- ① 市民会館の建替え
- ② まちかどからの文化・芸術の発信
- ③ 金山南ビルの活用

文化・芸術そして熱田神宮へとつながる歴史を感じる地域でもあります。こうした地理的特性を活かしていくことが名駅や栄との差別化につながると考えています。

基本方針3 地域防災力の強化

- ① 広域避難場所の充実
- ② 安全確保施設の充実
- ③ 防災意識の向上

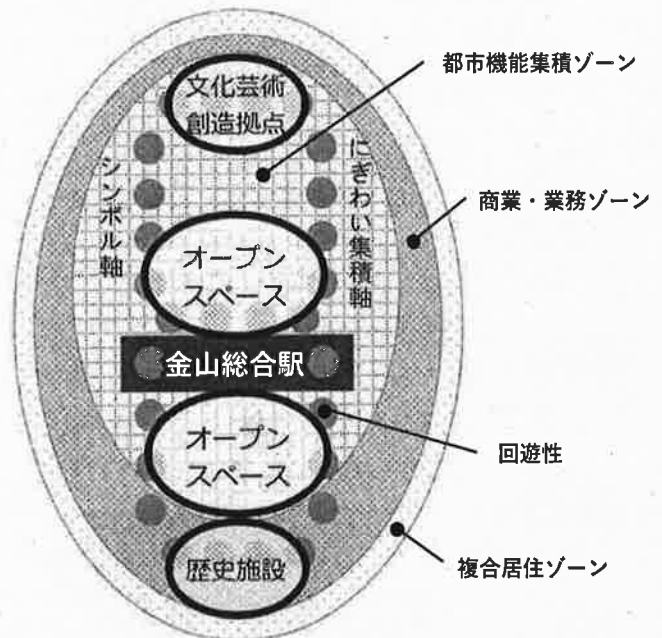
現在指定されている広域避難場所が少し狭くなってきています。災害時に地域住民や駅利用者等がより安全に避難できる広域避難場所の在り方について検討します。

基本方針4 交通結節点の機能強化

- ① 乗り継ぎ利便性の確保
- ② 情報発信の充実
- ③ 来街者向けサービスの提供

3つの鉄道駅に面してバスやタクシー乗り場も隣接しています。ユニバーサルデザインやソフト面でもわかりやすい、使い易い交通結節点を目指していきたいと考えています。

■ 土地利用構想



これは、土地利用構想の機能配置イメージ（概念図）です。総合駅を取り囲んで都市機能の集積ゾーンとしています。都市機能を集積させ、高密度なまちづくりを進めていきます。その周りは商業・業務ゾーンとして都市機能集積ゾーンを補完するような、商業の滲み出しを受けとめるゾーンです。さらにその周りは中高層の共同住宅を踏まえた複合居住ゾーンとしています。

そして、総合駅に隣接した南北にオープンスペースを配置し、にぎわいの集積、防災性の向上、緑地の充実等により魅力ある空間を創出し、地域に一步踏み出す目的性を生み出していきたいと考えています。

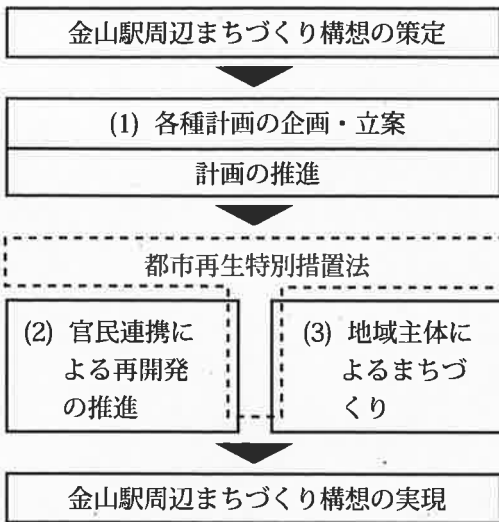
さらに、目的性の高い魅力ある施設である市民会館、金山神社を地域の両端に配置することで、地域全体の回遊性を高めていきたいと考えています。

■ 構想実現に向けて

この構想に基づき、今後具体的な計画を策定していくことになります。

公有地を開発することのインパクトで周辺においても民間の活発な投資が進むことを期待しています。

また、事業を推進していく上では地域住民や商業者等多様な主体が関わりあうことが必要不可欠であり、将来的には地域が主体となったまちづくり協議会を組織していただき、まちづくりについての検討を行っていただきたいと考えています。名駅や栄でも地元の方々でまちづくり協議会を組織し、地域の意見をとりまとめ、地域が主体となったまちづくりを進めています。この金山でも今後事業計画を作っていくときには、そうした組織を中心とした地元の皆様と意見交換をしながら進めていければと思っています。



■ 土地利用のイメージ (図1 参照)

金山を南北をつなげる軸をシンボル軸・賑わい集積軸と位置付けていますが、周辺の民有地を買収してということではなく、計画する建物をセットバックさせて歩行者空間を拡充していきたいと思っています。

アスナル金山の街区は、商業施設やバスターミナル、タクシーベイのほか、防災機能と緑を充実させるためオープンスペースを配置していきます。

古沢公園の街区は、文化・芸術創造拠点と位置付け、金山地域の集客施設である市民会館を中断することなく更新・配置し、地域の回遊性向上に資する施設としていきたいと思っています。

また、現在ある市民会館の街区は、魅力的な集客施設を誘致するとともに、現在ある古沢公園の機能を導入していきたいと考えています。

■ 今後のスケジュール

明確なスケジュールをお示しすることはできません

図1 土地利用将来イメージ



が、段取りということでお話ししますと、先ず古沢公園に市民会館の機能を持っていきます。そして新たな市民会館ができたなら現在の市民会館を取り壊し商業施設等を誘致します。そして、新たに賑わい機能ができた後にアスナル金山を取り壊して駅前の街区を整備することを考えています。

この段取りというのも、市民会館が古沢公園に移設できればということになります。

新しい都市機能を持ちこみながら、それを実現するために機能の再配置を考えています。それぞれの機能を継続しながら整備を進めていきたいと思っていますが、限られた敷地の中での開発になりますので、機能の一部では一時停止することになるなど地元の皆さんにはご迷惑をお掛けすることになるかも知れません。今後も地元の皆様とは、意見交換しながら、要望を受けとめながら事業計画を策定してまいりたいと考えています。

ご理解、ご協力をお願い致します。

田村課長の説明後に、この構想案に対して質疑がありましたので、その概要もお知らせします。

Q) H14の構想でも「交通拠点から交流拠点へ」といった内容だったと思います。今回も考え方は同じで、範囲が少し広がったと考えればよろしいでしょうか。また、大まかなスケジュールイメージはお持ちですか。

A) 43万人という駅利用者に出ただけのようなまちにしたいと思っています。そのためにも駅を中心に一定の広がりを持ったまちにしていく必要があると考えています。また、スケジュールについては、予算と

しての裏付けがないのではっきり申せませんが、リニア新幹線の効果を受け止められるようなタイミングで進めていきたいと考えています。

Q) 古沢公園の近隣に住んでいますが、率直に言って住民が置き去りにされているような気がします。工事中の安全確保や騒音対策などは担保されていますか。

あと、古沢公園の代替について、その間子供たちはどこで遊ばばよいのですか。

A) 工事における安全確保や騒音対策については、その段になれば十分に配慮していく必要があると考えています。また、公園については、限られた土地の中でやりくりしていく必要があります。物理的に制限はあると思います。皆さんで話し合っ、互いに譲歩して地域としての方向性を見出していいただければと思います。

Q) 「賑わい」をどう捉えられているのか、来街者のみのことをお話しされていますが、住民が無視されているように感じます。子育て世代も多く、そういった視点を持っていないと地域の力も落ちていくような気がします。

A) 都心部でありながらお住いの方が多いというのも金山の特徴だと考えています。ただし、金山はJR、名鉄、地下鉄が乗り入れる広域的な交通結節点というのも特徴の一つであり、お住いの方、ご商売をされている方、お勤めの方など、それぞれの立場でそれぞれの主張もあるかと思いますが、「金山のまちを良くする」という視点でお考えいただければ嬉しく思います。

Q) 古沢公園は子供たちが安心して遊べる地域交流の場として大切な役割を担っています。「古沢公園がなくなってしまうたら何処で遊ばばよいのか」という子どもたちの声にどう答えればよいのか。子ども達の権利を侵害する構想には反対です。

A) 公園がなくなるのではなく、現在の市民会館街区に新たに整備する構想であるということは申し上げておきたいと思ひます。もちろん、工事期間中子ども達の遊び場がなくなることは本意ではなく、ただし、限られた敷地の中での整備ということで限界があるのも現実です。対応策については、今後意見交換させていただきながら計画に反映していきたいと思ひます。

Q) 市民会館がなくなることを心配していたが、残るということで安心しました。ただ、古沢公園街区だと半分になってしまうのではないのでしょうか。是非内外に誇れるような市民会館にしてほしいと思ひます。

A) ご指摘のとおり敷地は概ね半分になりますが、民間活力を活用するなど予算軽減を図りながら整備を進めていきたいと考えています。

Q) 古沢公園も市民会館も残して現地建替えという案はないのでしょうか。移設は決定事項なのでしょうか。

A) 今回の構想を市民の皆様にご説明させていただくのは初めてであり、素案ということで決定事項という認識はありません。ただし、市内でホール機能が不足す

るなか、市民会館の機能を継続しながら建替える必要があり、玉突きでの開発は今回の構想の根幹の部分であると考えています。もちろん、合理的な理由で、地元の総意として困難との判断に至れば修正を検討する必要はあると思ひます。

Q) そもそも、なぜ市民会館の建替えが必要なのか。建物自体はまだ大丈夫だと聞いたことがあります。

A) ご指摘のとおり建物自体は耐震性もあります。ただし、ホール機能が老朽化しており、空調や防音、バリアフリー等構造体以外の面で更新が必要になっていると考えています。

Q) 大津通り沿いで商売をしていたが、お客さんに「金山の繁華街はどこだ？」と聞かれたことがあります。金山にはもっと発展して欲しい。今日の語る会は「古沢公園をどうするか」という話ばかり。近隣には葉場公園や金山公園もある。名古屋市から提案してはどうか。

A) 他の公園の活用についてご提案をいただきましたが、これから事業計画を策定するなかで、周辺環境の整備を含めて地元の皆様と相談しながら考えていきたいと思ひます。

Q) 質問というか要望ですが、10年前にもアスナル金山ができるということで様々な反対の声がありました。ただ現在、実際にアスナル金山が出来て文句を言っている人はいない。私どもは得てして目先のことを見てしまいがちですが、100年先の名古屋を俯瞰的に見据えたうえでまちづくりを進めていけるのは行政だと思います。私どもは色々ご提案をいただきたいし、ご指導いただきたいと思ひます。

Q) 私も要望です。私も子どもの頃に古沢公園で遊んだ一人です。市民会館も現地での建替えが理想だとは思ひますが、市内のホール事情から機能を継続していく必要があります。よって、古沢公園街区への建替えについては市としても苦渋の選択だと思います。公園も再整備されるということなので、子どもたちの未来のために「公園」というものを市と協力しながら話し合っていければと思ひます。

<事務局MEMO>

今回は名古屋市の構想案について説明をいただきました。これまで語る会で話し合ってきた内容と方向性は概ね一致するものだと感じています。

ただ、古沢公園の件で地元にお住いの皆様からご心配の声が出ています。切実な問題だと思います。

前回の語る会でも「公共空間が面白くなければそのまちは面白くない。」といったお話しがありました。

語る会では、「金山の魅力や価値向上」のため、「公園」や「みち」など公共空間の在り方について今後も検討していきたいと思ひますので、ご協力のほどよろしくお願い致します<()>